

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

14号

大日化成株式会社

〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702

URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます

BIGSUN
RX 工法

大日化成社名の由来

迎春。

大日化成株式会社も本年5月をもって38期を迎えようとしています。そこで、社名の「大日化成」の名前の由来について考えてみたいと思います。

「大日化成」の「化成」については、ほとんどの人が疑問に持たれることではないではないでしょうか。当初シール材の製造から出発し、その後の商品開発の経緯を見れば当然と思われる。

さて、「大日」の方ですが、これには諸説あるようです。

その一 (地名説)

関西(特に大阪)に在住の方々はご存知の事と思いますが、弊社の旧本社(大阪市鶴見区焼野)と兄弟会社である株式会社美作(守口市八雲西町)の近くには国道一号线と関西の大動脈である中央環状線の交わる「大日交差

2011年 新年を迎えて
年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。一昨年、民主党が政権を取り、まず取り組んだ事は、補正予算を凍結し、「事業仕分け」と称する作業に入りました。この間、日本経済はデフレに陥り、円高・株安が進み、日本経済の自律的回復が危ぶまれ、また、アメリカの一極支配が終わりを告げ、世界は多極化・分極化に進んでいます。

グローバル化の進展と共に中国・インド・東南アジアが経済的に重要な地位を占めつつあります。なかでも、中国の存在は極めて大きくなり、GDP世界第2位となり、日本を追い抜きました。尖閣諸島における中国との関係はあらゆる場面で日中交渉案件になり日本はまたアメリカに頼ることになるでしょう。また経済面では各企業は新卒の採用を控えるを得なく、社員の高齢化を迎えてきている状況だと思えます。菅政府の高齢化、少子化対策という小手先だけの経済対策では大きな進展はないと多くの国民は思っているでしょう。



代表取締役社長 小林 直樹

この不況の中、官庁、民間を問わず、建築、土木の発注は減少し続けております。政府は国民の安定な生活基盤を作る使命があるはずで、例えば資源確保のための海洋開発や生活環境の改善等を中心に大規模な公共投資を実施して雇用を生み出し、この異常なデフレから抜け出す事が抜本的な対策ではないかと思えます。

さて、弊社はビッグサンという防水材料を生産販売して30年以上が経ちます。その間、皆様のご意見、ご要望を取り入れ性能向上を行ってまいりました。当初は、防水材は特殊防水と称され、現在のように認知されておりませんが、水系、無臭、下地が湿った場合も使用できる、攪拌ミスが少なくといった新しい性能を持った防水材料として採用が増えてきました。

最近は大手の建材メーカーが参入して性能や価格で厳しい状況が続いておりますが、弊社は防水材JAS S8の規格では最高レベルの通気緩衝工法等も上市しました。また、金属屋根、スレート屋根を防水遮熱するMR工法、SR工法を販売し市場開拓を行っています。このポリマーセメント系塗膜防水材は長期的に見ると非常に優れた防水材とされています。ビッグサンを施

工してから10年以上経過した現場でも防水層は健在しており、その物性を検査してみると性能は落ちておりませんが防水効果は残っています。構造物の寿命を仮に50年と仮定した場合、防水は4、5回施工されると思いますが当初ビッグサンを施工して何回も改修する場合、下地処理費や防水層の撤去、廃材処理費は非常に少なく済むことと塗り重ねが可能なので工事費が極めて経済的です。

また、市街地から離れると多くの工場があり、古いスレート屋根や金属屋根が残っています。築20年以上経過したものは雨漏りしていると思われる、防水を施工する必要があります。

企業が業務を続けながら屋根の修繕が可能で、危険物を持ち込まず遮熱防水できる弊社のMR、SR工法を是非、ご利用いただくようお願い申し上げます。最近の激動する政治、経済でも環境重視という方向は変わらないと確信しております。その中で弊社の製品が幾ばくか皆様のお役に立ち環境を改善できれば幸いです。最後に皆様のご発展とご健康をお祈り致します。

その四 (診説)

その当時、シール材製造には欠かせないトナー(顔料)の製造メーカーに大日精化(セイカ)という大会社があり、語呂が良く似ていて何か関連性がある様に聞こえ、音の響きも良く人に覚えてもらいやすいから説など、いろいろの説がありました。

そこで会社設立当時のメンバーで唯一の現役である(現会長)小林知義氏に真相を確かめた結果、会社設立時に各メンバーが会社社名を独自に提出したそうです。その中に「大日化成」があり、メンバーの一人であるI氏(現在はリタイアされています)が非常に強く推薦されています。その勢いにみんなが押されたとの事でした。そのI氏がなぜ「大日」を気に入られたのかは不明でした。

結局のところ由来のはっきりした理由が謎のままではあります。が、今や「大日」から主力商品である「ビッグサン」(大日Big、日太陽Sun)という名前が誕生するなど、今となっては「大日」という名前が、大きな役割を果たし、これからも日々成長していると感じていただけるように社員一同頑張る次第です。



熱血営業マン!
ダイニチくんの奮戦記

新年おめでとうございます!
ごさいます!

大日化成はお陰様で
防水材で30年超の
キャリア!

ビッグサンは、
水系・無臭で施工回数
が少なくOK!
とっても経済的など
メリット大!

今年もビッグサンを
はじめMR、SR工法を
よろしくお願ひします!

BIG SUN
ビッグサン(建築・土木用防水材)

MR工法
金属屋根遮熱工法

SR工法
スレート屋根遮熱工法

こんなところで活躍しています

工場施設屋上



BIG SUN <土木用防水材>
ポリマーセメント系塗膜防水材



スカイジン <下地調整剤>
スカイジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です!

シーズン花壇

屋上緑化に四季の彩りを実現





大日化成

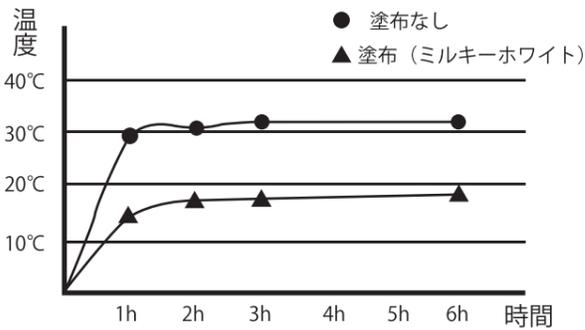
ECOへの取り組み

大日化成株式会社は、環境に配慮した事業の推進を目指す企業として積極的にエコ活動に取り組み、地球環境の保全と向上に貢献していきます。

今年9月1日に大日化成株式会社東京営業所から東京支店となり、また手狭になったこともあり少し広い事務所に移転する事にいたしました。新事務所は、東向きで事務所内の照明が必要無いほど明るく、また窓からは夕留のイタリヤ街が見える我が社には少し似合わない？お洒落な町並みにあります。新事務所は、外壁が水垢などで若干汚れていた為、ビルのオーナーに相談し、弊社で外装を塗り替える事となりました。塗料については、弊社の高反射塗料トップURを使う事にしました。ご存じの通り高反射塗料とは太陽からのエネルギーを反射させて熱量を軽減し冷房負荷を削減できる。それを屋根や外壁に塗布する事で冷房用のエネルギーを削減できヒートアイランド現象を抑制する効果を増します。

効果が実証されているので、夏場のエアコンを使用する電気代のランニングコストを押さえる事ができ、CO2排出の抑制ができるので、少なからずとも地球温暖化やエコロジーに貢献できると考えています。

ビッグサントップUR裏面温度：防水層なし



効果があることが実証されているので、夏場のエアコンを使用する電気代のランニングコストを押さえる事ができ、CO2排出の抑制ができるので、少なからずとも地球温暖化やエコロジーに貢献できると考えています。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

私の住んでいる街「川越」は、一昨年のNHK朝の連続テレビ小説「つばさ」の舞台となつてから、年間約630万人(平成21年度)の訪れる観光地まで成長しました。「蔵造り」とよばれる江戸時代の街並みがそのまま残り、なんとも言えないレトロ感を感じながら散策できるのが売りです。しかし、私が子供の頃は、まだそんなに観光客の数は多くありませんでした。(昭和60年..219万人)当時、蔵造りの家屋が並ぶ通り(川越一番街商店街)は、蔵造りの外観はビニールテンの看板で覆い隠され、人通りの少ない一見すべた感じの普通の商店街でした。蔵造りの家屋も劣化と共に取り壊され、現代の建築物が建ち、今ではまったく違った統一感のない通りだったのです。それが、今のような観光地になった軌跡を調べていくと蔵造りの建物を保存しようという意識が住民の間で高まり1983年「川越蔵の会」(2002年NPO法人化)が発足し、蔵造りの町並み保存するのと同時に、それを資源とした地域活性化の取り組みが始まりました。1999年には景観整備のため、商店街が自主的にまちづくりのルールを定め改装をコントロールし、また、行政も支援、広範囲「7・8ha」を文化財保護法による「重要伝統建造物保存地区」に指定。対象となる建築物の維持や、現代風に改装された耐震補強などの補助金が活用され、建物の保全に



東京支店 金井照男

合わせ、経済産業省や国土交通省の助成により、電線の地中化、道路の石畳化など景観整備も実施されたのでした。近接する普通のアーケード商店街だった「銀座通り」も、大正時代建てられた近代建築の家屋をあらわにさせ、「大正ロマン夢通り」として復活。今や、映画のロケ等に使用されております。昔の建物が取り壊され、新しい街へと変貌していくのが当たり前の世の中で、このように市民から始まり行政と一体となつて、昔のものを残すこと、新しい価値観を生み出すことができるのだ。というのを目の当たりにすると、地元を誇りをおぼえます。それでも今なお年々、街並みも変貌を遂げて、ついこの間まで住宅街の通りだったところが、趣のある小路になつていたり、訪れるたびに新たな発見があることに地元の人でも驚いているくらいです。私も、仕事において新しい価値を創造できるような日々を精進して頑張ろうと思

Vol.11

映画で学ぶ 環境問題

『グラン・ブルー』(Le Grand Bleu)



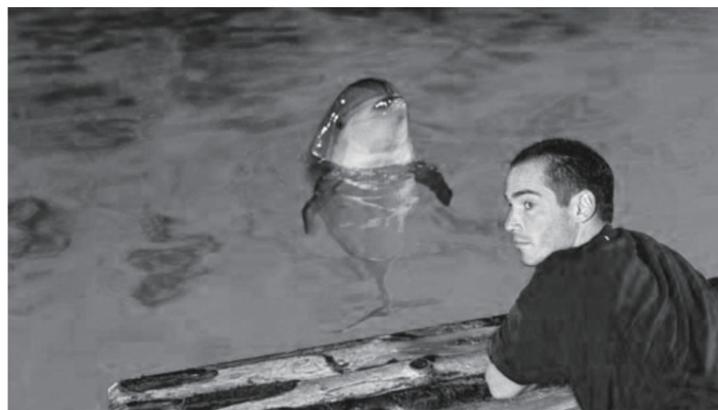
監督 リュック・ベッソン
出演者 ロザンナ・アークエット
ジャン＝マルク・バル
ジャン・レノ 他
公開 1988年5月11日
上映時間 120分(編集版) ~ 168分(完全版)
フランス・イタリア合作

「レオン」や「キータ」、「フィース・エレメント」や「TAXI」など、エンターテイメント性溢れる映画づくりで人気の『フランスが生んだ天才映画監督』リュック・ベッソンが初期の1988年に世界的な一大ブームを巻き起こした海洋映画です。

人気者だったリュック・ベッソンの方は2001年に首つり自殺という残念な最期を遂げています。さて映画のストーリーは、幼少時から幼なじみとして過ごしたフランス人ジャックとイタリヤ人エンゾの「素潜り」にかける情熱を描いており、海とイルカをこよなく愛するジャックと、彼を愛するがため、苦悩するアメリカ人女性との恋愛もからめた物語です。ロマンチックすぎるシーンがあるためお子様と一緒に見づらいため、内容的に環境の大切さを訴えたものではないので「環境映画」とは呼びたくない「作品かもしれない」。

にも関わらずこのコーナーで取り上げたのは、この作品全体を通して「海への深い愛」を感じたからです。実在のジャック自身も、「イルカ人間」と呼ばれる程の人で、「イルカと人間が共存すべきだ」ということと「人類はいつか海に還る。」ということを訴え続けたそうです。そんなジャックは、今なお多くのダイバーに影響を与えカリスマ的に愛されており、彼の想いは後進ダイバー達に「海を汚すな!」と受け継がれています。

ちなみに、実在のジャックが海に潜ることを覚えたのは6歳の時。そして10歳の時にイルカと出会います。が、ナント!どちらも、日本の佐賀県唐津での体験です。当時、彼の一家はよく日本と上海を行き来していたようで、それを知ればますます、「日本の海を汚さず、大切にしなければならぬ!」「イルカがのんびり散歩できる海にしなければならぬ!」そんな風に思えてしまいます。



たということですが。そういう監督のバックボーンがあったからこそジャック・マイヨールと出会ってすぐに意気投合し、この映画を作り、熱い想いゆえに大ヒットさせることができたのでしょう。ただ作風としては、フランス映画でも一番ハリウッドっぽいリュック・ベッソンにしては、やや冗長気味と感じました。「まだリュックのフランス人さが抜けきれていず、フランス映画として見た方が理解しやすい時代の作品」と言えば良いのでしょうか。個人的には、エンゾを演じたジャン・レノが秀逸だったのと、イルカの散歩シーンが美しかった点が、お薦めポイントです。

次号も お楽しみに



URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803